

「あおもり創生総合戦略」の策定方針について

「あおもり創生総合戦略」の策定方針

① 位置付け

これまでと同様に、県基本計画の人口減少対策に係るアクションプランとして位置付けます。

② 対象期間

令和6年度～令和10年度までの5年間とします。

③ 「第2期まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」の進捗状況

第2期総合戦略(令和2年度から令和6年度)では、基本目標と重要業績評価指標(KPI)を合わせて38の指標を設定しています。

目標年度を令和6年度で設定しており、現時点での進捗状況として目標値と比較してみると、38指標のうち12指標で目標値を超えています。

| 政策分野 | 指標数 | 目標値超え(直近値) |
|------------------------|-----|------------|
| ①～「経済を回す」～魅力あるしごとづくり | 15 | 5 |
| ②出産・子育て支援と健康づくり | 13 | 3 |
| ③若者の県内定着・還流と持続可能な地域づくり | 10 | 4 |
| (合 計) | 38 | 12 |

④ 第2期総合戦略を踏まえた今後の課題

令和2年から長期にわたったコロナ禍の影響等もあり、目標年度に達していないものの、現時点で見ると、どの分野も目標値を超えていない指標が多くなっています。

様々な環境変化に対応しながら各取組を推進してきた中で、本県の人口減少は、若い世代の県外流出と少子化に歯止めがかかっておらず、今後も減少が続いていくと見込まれ、厳しい状況にあります。

このため、若い世代の県外流出と少子化への対応として、十分な所得と働きがいを得られる、魅力ある多様なしごとづくりや、安心してこどもを産み育てることができる環境づくりを強化していく必要があります。

さらには、市町村等と連携しながら、人口減少に対応した地域づくりに取り組んでいく必要があります。

⑤ 構成

県基本計画に掲げる本県の2040年のめざす姿「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」の実現に向けて、県基本計画の政策体系を基に、人口減少対策の推進に向けた政策分野(社会減対策、自然減対策、人口減少に対応した地域づくり)に組み替えたものとします。

⑥ 数値目標の設定と効果検証

政策分野ごとの基本目標と、政策分野を構成するそれぞれの政策に重要業績評価指標(KPI)を設定し、効果を検証する。効果検証は、県基本計画のマネジメントサイクルと一体的に実施します。

参考:総合戦略の政策体系イメージ

○次期基本計画(政策テーマ)

- ①しごと
- ②健康
- ③こども
- ④環境
- ⑤交流
- ⑥地域社会
- ⑦社会資本



○総合戦略の政策体系

- 1 所得向上と経済成長につながる魅力ある多様なしごとづくり
→ 社会減対策として、基本計画①、④・⑤・⑦は一部を組替
- 2 こどもの健やかな成長、健康づくり
→ 自然減対策として、基本計画②、③を組替
- 3 持続可能な地域づくり
→ 人口減少に対応した地域づくりとして、基本計画⑥、⑤・⑦は一部を組替